

POINT.

2

主専攻と副専攻、実践活動を組み合わせ、学びを深める

2年次までに6つの専門コースを横断的に自由に学び、学びの裾野を広げます。早期に幅広い学びに触れることで、自分の適性をしっかりと見極めます。3年次からは主専攻を確定し、専門性を深化させます(レイトスペシャライゼーション)。

1年次

学ぶための技術を身につける

大学に必要なスキルと人文学に関する科目、専門の導入科目を学びます。

2年次

学びの裾野を広げる

専門科目を横断的に、自由に学びます。実践活動にも取り組みます。

3年次

専門性を深化させる

主専攻となるコースを決めます。専門演習を通じて知識と経験を結びつけていきます。

4年次

学びの成果を形にする

専門の学びを発展させ、集大成として卒業論文・卒業制作に取り組みます。

基盤科目

- ・専門導入科目
- ・外国語プログラム
- ・スポーツ
- ・ICTプログラム
- ・実践系
- ・キャリア系
- ・基礎演習

専門教育の基礎となる学びに加え、議論展開の方法、レポートの書き方、口頭発表など、学ぶための技術を身につけます。

専門科目

- 情報メディアコース
- キャリア英語コース
- 地域経営コース
- 国際社会コース
- 歴史探究コース
- 多文化・思想コース

- ・キリスト教教育ディプロマ
- ・日本語教育ディプロマ
- ・児童英語教育ディプロマ

6つのコースから選択

主専攻

専門コースの中から主専攻を決めます。専門演習で専門性を深化させます。

6つのコース、3つのディプロマから選択

副専攻

主専攻に加え、副専攻を選ぶことができます。※副専攻を選ばず複数コースの科目を自由に履修することもできます。

卒業論文・卒業制作

数理・データサイエンス・AIプログラム 文部科学省認定 リテラシーレベル

サービラーニング 地域活動や海外留学・研修で、教室での学びを実践します。

教職課程

中学・高校(英語)はキャリア英語コース、中学(社会)・高校(地歴)は歴史探究コース、中学(社会)・高校(公民)は国際社会コースをおすすめします。